

## エジプト株式市場の2012年への見通し

コンコードは株式運用の観点からすると、現在、極めて難しいタイミングに位置しており2012年に向かって投資家はどのような投資戦略に則って資金を運用すべきか大きな課題に直面していると観ている。コンコードが運用する全ての国内・海外ファンドはベンチマークのEGX30に対して11月末現在で平均20%以上アウトパフォームしています。但し、海外ファンドに於いては夫々の為替の動向、特に対ドルの変動幅によって変動しています。(2011年度のエジプトポンドは対円で約20%低下した。)

エジプト株式市場の動きをみると、1)EGX 組み入れ銘柄の中で2銘柄(AMCO とUEGC)のみ年初来騰落率がプラスとなっている。2)EGX30 はその設定以来(1998年に設定)史上2番目の大きな値下がりとなっている。3)企業の売上、経常利益は低下し、金融及び税制面で景気が下降局面にありながら法人税の負担増に追い込まれている。その中で唯一力強い動きをしているのは商品市況である。

コンコードは現在の政治(特に選挙結果の動向)金融情勢(特にEUROZONEに於ける更なる展開が不明である)が流動的であることから、2012年の株式市場の展望を直ちに、的確に示す事は困難であるが、それであっても2012年の株式市場は株式運用者にとって挑戦に値する年に成るであろうと考えている。エジプトの外貨準備は2010年12月の水準から既に44%低下、政府と中央銀行による緊縮財政の認識と徹底、エジプトポンドの急落など、経済的な諸悪条件はここ数カ月で終焉を迎えようとしている。

国際収支の悪化は、過去の歴史が語るように政府に対して増税、輸出入の規制強化、政府のエネルギー補助政策の再調整などを行ってきたが、エジプト政府はここから悠長な“TYR & ERROR”を試行錯誤する時間的余裕が残されていない。

このような環境下で、投資家の短期的に取るべき投資戦略はロングポジションに対して極力ヘッジを行うか、エネルギー商品関連にオーバーウエイトするかにより、ごく短期的(2-3カ月)シフトが行われるべきと考える。加えて、既に調整済みとみられる不動産関連および非銀行系ファイナンス関連のウエイトを高める必要があると考える。

最後に石油価格については当分の間、イラン問題、中国の直近の金融政策(引き締め)の動きに沿って上昇が続くと考えられる。

弊社はこのようなエジプト株式市場が2012年の何れかの時点で大きくセキュラーチェンジを迎えるタイミングを計り、皆様にお伝え出来るものと信じております。

コンコード インターナショナル インベストメンツ  
日本代表 稲葉圭亮

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。■当資料は本来の受信者の社内用途のためだけに提供されています。本資料のいかなる部分も、弊社の事前の書面による同意を得ることなく、その内容の全部または一部を許可なく使用、発信、配布または複写することを固く禁じます。